

笑ってごらん

第 667 号 2019. 12. 11 発行

～今日の格言～

笑顔は花です。

(ゴルゴ松本)



6日(金)、芸術鑑賞会を行った。本校では音楽・講演・演劇を順に実施している。昨年度は同窓会「白鳳会」の多大なるご協力をいただいてC&Kコンサートを催すことができた。

「講演」を行う今年度、講師はゴルゴ松本さん。テーマは『命の授業』。

お笑いコンビTIMとしてテレビ番組に出ているのを知っているだけに個人的にもワクワク。実

際に彼の講演を聴くのは初めてだったが、そのパワーに圧倒されっぱなしだった。

矢継ぎ早に紹介される漢字の成り立ち、そして貴重なメッセージの数々。皆さんもたくさんの学びを得たことだろう。

まずは、自分の名前に込められた両親からのメッセージをしっかりと受け止めることから始めてみよう！

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

☆頭の体操☆

次の式の□に1, 2, 4～9の数字を入れ、式を完成させなさい。

$$\begin{array}{r} \square\square\square 3 \\ \times \quad \square \\ \hline \square\square\square\square \end{array}$$

～・～・～・～・～・～・～・～・～・～

断捨離

年末の「大掃除」を考え辺りを見まわすと、これまでに入手した数多くの「モノ」に囲まれていることに気付く。また、その大半が現在使っていない物だったりする。

「断捨離」とは、釈迦やガンディーを導いた『ヨガ』の行方哲学「断行・捨行・離行」に由来するという。身の回りの不要なモノを減らすことで、本当に必要なモノが見えるようになり、身軽で調和のとれた生活が取り戻せるという考え方だ。

「断」は要らないモノを取り込まない。「捨」は不要なモノを捨てる。「離」はモノへの執着心から離れることを表す。

自由で豊かなシンプルライフを手に入れようと、まず「捨」から始めるにあたって早速ハードルとなるのが、モノを大切にするという日本人の精神「もったいない」である。「いつか使う時が来るだろう…」と大切にしまい込んだために、モノが溢れすぎて始末しきれなくなっているはないか？「離」に至らないのである。

そして、コマースや店先などで「便利」に見えるモノを目にすると、ついつい欲しくなってしまう。いわゆる衝動買いである。いつまで経っても「断」ができない。結果、ワクワクしながら購入し手元に置いたモノが、よくよく見ると大して便利でもなく、「買わなきゃ良かった…」と後悔してしまうことも。

断捨離が片付けのテクニックを超えて『思想』と言われる所以である。年末、大掃除に取り組みながら、弱い自分と闘うことになるのは決して私だけではないだろう。



街へ出ると、クリスマスモード全開、きらびやかなイルミネーションとともに「セール」の文字に浮き足立つ。

消費税増税絡みで本格化したキャッシュレス決済も普及の一途。『〇%還元』に惑わされないよう、『断』の気持ちで買い物は計画的に！